

地域アイデンティティ委員会事業計画

委員長 北島 稔一
副委員長 星野 和也
副委員長 山田 時代
幹事 片 藍子
幹事 熊田 僖己

【基本方針】

平成の大合併から11年の年月が経とうとしている現在、上越市も他地域同様に人口減少や少子高齢化、過疎化など深刻な問題を抱えています。これらの問題に対して、行政だけに頼るのではなく市民一人ひとりが、危機感を持って自分の事として主体的に行動する必要があります。市民がここに住み続けたいと思い、離れても戻ってきたいと思える故郷、そして定住候補地として常に選ばれるような魅力溢れるまちづくりが求められています。

まずは、各コミュニティの代表者や行政、市民を巻き込み、人口減少に対する危機意識を醸成し、積極的な行動を促すために、地域の抱える諸問題を真剣に受け止め、地域一丸となって解決策を模索する場を作ることで、地域や行政が定住者を積極的に受け入れる機運を高めます。そして、人口減少に歯止めをかけるため、若者を中心に田舎の魅力に触れる機会を創出し、この地域に対して興味を持ち、住んでみたい、住み続けたいと思って頂ける仕組みを確立します。さらに、地域が最も期待する若い世代に対し、故郷の魅力を再認識し、帰省を考えるきっかけを作るために、上越市出身者を一堂に会し、故郷の自然や文化、食などに触れながら、自分の将来を見つめ直す場を創出することで、郷土愛を思い起こし、帰省に対して積極的な意識を醸成します。また、本年度の運動をモデルケースとして人口減少を抑制し、人口増加を促す仕組みを継続して実施するために、定住者を受け入れる側としてのホスピタリティを育て、地域の魅力や愛着心で心を繋ぎ止める仕組みを行政や地域に対して提案することで、魅力的なまちづくりを上越地域全体で推進します。

我々が、魅力あふれる定住先としての地位を確立すべく行動を続け、積極的な行政と市民を巻き込み、地域が輝く未来を目指して運動した結果、若い大人たちが子どもたちを囲み、笑い声が絶えない情景が想像できる、明るい豊かな社会の実現に近づくと確信します。

【委員会職務分掌】

1. 会員拡大への協力
2. 上越オクトーバーフェスト2016への参画

3. 定住者受け入れに対して積極的な意識を醸成する事業の実施と報告
4. 田舎の魅力に触れ、定住についての意識を変革する事業の実施と報告
5. 故郷を感じ、帰省に対し積極的な意識を創出する事業の実施と報告
6. 各事業をモデルケースとしてまとめ、行政に提言する事業の実施
7. トライネットへの交流の実施
8. 衆議院解散時の公開討論会の実施と報告